

1. 実況上の着目点

- ① 台風第20号が東シナ海を西南西進。沖縄近海で、激しい雨を解析。
- ② 前線が関東の東～日本のはるか東にほとんど停滞し、前線と釧路沖付近の高気圧との間で湿った東よりの風が吹いている。また、東～西日本付近には地上の露点温度25℃前後の下層暖湿気が滞留している所がある。
- ③ 500hPa 5880m付近で-6℃以下の寒気を伴う正渦度極大域が日本海西部を東進、雷を検知。
- ④ 強い台風第18号が、小笠原近海を西北西進。
- ⑤ 上層の高気圧が日本の南や西日本付近を覆っている。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の台風第20号は、24日にかけて台湾海峡に進んで、熱帯低気圧となる。台風や熱帯低気圧の周辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、非常に激しい雨や猛烈な雨が降って大雨となる所がある。また、沖縄地方では、23日夕方にかけて線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。沖縄地方では23日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。また、強風やうねりを伴う高波にも注意。
- ② 1項②の前線は、24日朝までに不明瞭化。1項③の正渦度極大域は北～東日本を通り24日は日本の東を南東進。下層暖湿気や地上の昇温、上層寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる。北～西日本では23日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、24日にかけて落雷、突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 1項④の台風第18号は、25日は非常に強い勢力で沖縄地方にかなり接近するため、猛烈な風が吹き、うねりを伴った猛烈なしけとなり、潮位の高くなる所がある。沖縄地方では25日は、暴風や高波に厳重に警戒し、高潮に注意・警戒。奄美地方では高波に警戒し、小笠原諸島では高波に注意・警戒。
- ④ 24～25日は、オホーツク海を東へ進む低気圧からのびる前線が北日本を通過。前線に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり激しい雨が降り大雨となる所がある。北日本では24～25日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷、突風、降ひょう、強風、高波に注意。
- ⑤ 1項⑤の背の高い高気圧の影響が続く西日本を中心に気温が上昇し、最高気温が40℃前後に達する所がある。熱中症などの健康管理に一層の注意が必要。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ①雨量(06時からの24時間)：沖縄180、東海100mm。②波浪(明日まで)：沖縄6、奄美4、北海道・九州南部3m。

5. 全般気象解説情報発表の有無 全般気象解説情報(台風第20号)を05時頃に発表予定。